【令和２年度】

**「特殊詐欺被害防止」に関するリサーチプラン**

**１　調査の背景と目的**

　　近年、全国的に特殊詐欺が多発する中、令和元年（平成31年）の大阪府における特殊詐欺被害は過去最悪を記録しており、非常に厳しい状態にある。

　　このたび、特殊詐欺に関する60歳以上の府民の意識等を確認し、今後の特殊詐欺被害の防止につながる施策を検討することを目的に、本調査を実施する。

**２　調査項目**

　　特殊詐欺の被害者は70歳代・80歳代の高齢者が中心であることから、60歳以上の府民を対象に、下記項目について調査を行う。

➀　特殊詐欺の手口の認知

②　特殊詐欺被害の経験

③　特殊詐欺に対する意識

④　特殊詐欺被害防止対策の実践

**３　調査対象**

　　大阪府に居住する60～69歳５００サンプル、７０歳以上５００サンプルの計1,000サンプル

**４　質問項目**

■予備質問６問

SC１　性別（SA）

SC２　年齢（NA）

SC３　都道府県（SA）

SC４　市町村（SA）

SC５　同居者の有無（MA）

SC６　社会活動等への参加状況（MA）

■本質問　２４問

Q１　特殊詐欺の手口の認知度（MA）

Q2　アポ電等を受けた経験（SA）

Q３　特殊詐欺にあった経験（SA）

Q４　【被害にあった/被害にあいかけた人】被害前の手口・対策の認知（SA）

Q５　【手口・対策を知っていた人】何で知ったか（MA）

Q６　【被害にあった/被害にあいかけた人】相談状況（MA）

Q７　【被害にあった人】信じてしまった理由（MA）

Q８　【被害にあいかけた人】うそと気づいたきっかけ・理由（MA）

Q９　特殊詐欺に対する意識（SA）

Q１０　【被害にあわないと思う人】被害にあわないと思う理由（MA）

Q１１　被害防止対策をしているか（SA）

Q１２　【被害防止対策をしている人】その内容（MA）

Q１３　【被害防止対策をしている人】対策のきっかけ・理由（MA）

Q１４　【被害防止対策をしていない人】対策をしない理由（MA）

Q１５　防犯機能を備えた電話機の認知度（MA）

Q１６　防犯機能を備えた電話機の設置・活用状況（SA）

Q１７　【設置・活用している人】設置した理由（MA）

Q１８　【設置・活用している人】設置後の効果（SA）

Q１９　【設置・活用していない人】設置・活用しない理由（MA）

Q２０　【設置・活用していない人】今後設置・活用したくなる要因（MA）

Q２１　警察や自治体に力を入れてほしい被害防止対策（MA）

Q２２　警察や自治体から得たい情報（MA）

Q２３　特殊詐欺の手口・対策の提供希望媒体（MA）

Q２４　一般的な情報を探すとき、何を見るか（MA）

**５　検証方法**

特殊詐欺の手口の認知度（Q１）、特殊詐欺被害の経験（Q２・Q３）、特殊詐欺に対する意識（Q９）、特殊詐欺被害防止対策の実践（Q11）等について、年齢層別（SC2）・性別（SC１）、同居者の有無（SC５）・社会活動への参加の有無（SC６）等とクロスして検証する。

※クロス検証例：➀　特殊詐欺の手口の認知　　　　SC1・SC２×Q１

②　特殊詐欺被害の経験　　　　　SC１・SC2×Q２

SC１・SC2、SC５、SC６×Q３

③　特殊詐欺に対する意識　　　　SC1・SC2×Q９、Q３×Q９

④　特殊詐欺被害防止対策の実践　Q３×Q11・Q15・Q16